

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成27年												平成28年									
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月 ~3日	4月 ~10日	4月 ~17日	4月 ~24日	5月 ~1日	5月 ~8日	5月 ~15日
カンピロバクター	117	100	86	166	99	138	164	131	131	116	64	68	72	56	111	44	55	37	17	11	14 (15)	37
病原性大腸菌	227	185	210	229	130	190	195	127	95	134	147	174	140	146	163	43	41	50	33	14	18 (25)	33
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	9	2	5	3	7	9	20	37	14	36	19	11	12	4	2	1	1	2	4	3	0 (1)	4
黄色ブドウ球菌 MSSA	44	32	29	27	19	31	37	26	18	26	15	25	23	20	25	2	3	5	4	4	2	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	20	18	12	15	15	21	15	19	14	17	22	21	11	11	16	7	2	7	5	3	5	2
腸炎ピリオ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	1	1	0	0	2	7	8	2	1	1	0	0	1	0	0	1	0	2	1	0	0
ロタウイルス	2	0	5	15	3	2	0	0	0	0	1	2	4	19	29	7	8	4	5	3	2	2
アデノウイルス	1	0	1	4	0	3	0	0	0	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	38	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	20	20	5	3	3	1	2	0	1	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

広島県感染症発生動向週報

平成28年第19週(5月9日~5月15日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	6	結核	6					1	1	4
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1							1
四類	5	E型肝炎	1					1		
		デング熱	1					1		
		レジオネラ症	3		1			1		1
五類全数	5	ウイルス性肝炎(E型, A型を除く)	1					1		
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1			1				
		クロイツフェルト・ヤコブ病	1					1		
		梅毒	1					1		
		侵襲性肺炎球菌感染症	1							1

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第19週 5/9~5/15)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. 感染性胃腸炎

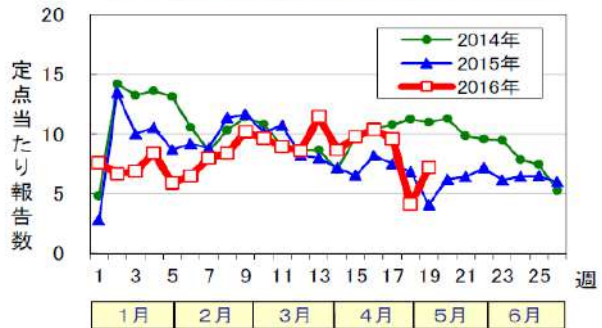
小児科定点から定点当たり7.17人の報告がありました。感染性胃腸炎の集団発生を予防するため、福祉施設・学校・保育園などの集団生活の場では、手洗いの励行や便・吐物の適切な処理などの感染予防対策を徹底しましょう。

2. デング熱

1件(推定感染地:国外)の報告があり、今年の累計は4件となりました。

デング熱は、蚊が媒介する感染症です。蚊媒介感染症が流行している国を訪れる際には、昆虫忌避剤の使用、屋外活動時は長袖・長ズボンを着用するなど、蚊に刺されないように注意しましょう。

感染性胃腸炎の流行状況(小児科定点)



前週(第18週)は、ゴールデンウィーク期間中の医療機関休診の影響があるため、第19週の各疾患の増減の評価及び「定点把握感染症報告状況」(下表)の発生記号の表示は、前々週(第17週)との比較で行っています。

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
インフル	インフルエンザ	13	0.35	0.72	▲	小児科	流行性耳下腺炎	25	1.04	0.60	◀
小児科	咽頭結膜熱	13	0.54	0.48	◀	眼科	RSウイルス感染症	3	0.13	0.12	◀
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	42	1.75	1.57	◀		急性出血性結膜炎	-	-	0.03	◀
	感染性胃腸炎	172	7.17	7.87	◀		流行性角結膜炎	5	0.71	0.75	◀
	水痘	13	0.54	1.13	◀	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	◀
	手足口病	5	0.21	0.78	◀		無菌性髄膜炎	-	-	0.06	◀
	伝染性紅斑	19	0.79	0.18	◀		マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.32	◀
	突発性発しん	8	0.33	0.50	◀		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	◀
	百日咳	1	0.04	0.09	◀		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	6	0.86	◀	
	ヘルパンギーナ	7	0.29	0.24	◀						

急増減 ▲ (赤) 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ▲ (黄) 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ▲ (白) 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ◀ (白) ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	7
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	59	女性(80歳代)
4	E型肝炎	1	1	男性(20歳代)・推定感染地域:国外
4	デング熱	1	4	女性(40歳代)・推定感染地域:国外
4	レジオネラ症	1	5	男性(60歳代)
5	ウイルス性肝炎	1	4	男性(50歳代)・B型
5	クワイツフェルト・ヤコブ病	1	2	女性(80歳代)
5	梅毒	1	7	男性(50歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の循環器疾患	発熱(39.0)	0	女	2016/04/05	糞便	ハレコウイルス3型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載